

|   |  |           |      |              |
|---|--|-----------|------|--------------|
| 科目名<br>Course Name  |  | 開講年次      | 開講学期 | 曜日・時限        |
| ファッションスタイリング・コーディネート<br>Fashion styling・Coordinate  |  | 1年        | 後期   | 別途、時間割参照     |
| 単位数   | 授業の形態                                    | 授業の性格     |      | 履修上の制限       |
| 2単位   | 講義                                       | 選択        | ( )  | 特になし         |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目  |  |           |      |              |
| 特になし  |  |           |      |              |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目  |  |           |      |              |
| カラーコーディネート  |  |           |      |              |
| 担当者に関する情報   |  |           |      |              |
| 氏名  | 研究室の場所                                   | オフィスアワー   |      | 電話番号・メールアドレス |
| 阿部芳子  | 福祉棟・3F                                   | 授業中に指示します |      | 授業中に指示します    |
| 授業の概要   |  |           |      |              |
| 人やモノがもっている魅力を最大限に引き出した提案のできるコーディネート感覚を学ぶ。「似合う」「似合わない」を、色・素材・形から分析し、内面から出る心理的要素もスタイリングに影響することも学ぶ。コーディネートスタイリング提案が論理的に分析・分類し、言葉できちんと説明できる知識を得る。 |  |           |      |              |
| 授業の目標   |  |           |      |              |
| ① 4種類の分析・分類をできるようにする。<br>② パーソナル、コーディネートスタイリングマップを製作できるようにする。   |  |           |      |              |
| 授業の方法   |  |           |      |              |
| 講義、コーディネートスタイリングマップ制作   |  |           |      |              |
| 学習の成果（学習成果）   |  |           |      |              |
| ① パーソナル、コーディネートスタイリングマップを製作できる。② 「なぜ似合うにののか」「なぜ似合わないのか」を言葉で説明できる。③ 背景・照明との関係の知識も得ることができる。   |  |           |      |              |
| 授業のスケジュールと内容  |  |           |      |              |
| 第1回目  | ガイダンス、ファッションコーディネートの必要性、スタイリスト業務、セルフチェック |           |      |              |
| 第2回目  | ファッションコーディネートの基礎知識と技術                    |           |      |              |
| 第3回目  | ファッションコーディネートの基本①（コーディネート（5W3H））         |           |      |              |
| 第4回目  | ファッションコーディネートの基本②（ライフスタイルによるコーディネート）     |           |      |              |
| 第5回目  | 色の知識と効果                                  |           |      |              |
| 第6回目  | ファッションコーディネートの基本③（色の組み合わせによるコーディネート）     |           |      |              |

|   |   |  |
|---|---|--|
| 第7回目  | ファッションコーディネートの基本④（素材の組み合わせによるコーディネート）                       |  |
| 第8回目  | ファッションコーディネートの基本⑤（イメージによるコーディネート）                           |  |
| 第9回目  | ファッションコーディネートの基本⑥（体型カバーに視点を置いたコーディネート）（アクセサリに視点を置いたコーディネート） |  |
| 第10回目   | 正しい姿勢と歩き方   |  |
| 第11回目   | コーディネートスタイリングプランの実践①  | 「撮影」   |
| 第12回目   | コーディネートスタイリングプランの実践②  |  |
| 第13回目   | コーディネートスタイリングマップの制作①  |  |
| 第14回目   | コーディネートスタイリングマップの制作② プレゼンの説明                                |  |
| 第15回目   | コーディネートスタイリングマップのプレゼン（レポート提出）                               |  |
| 事前・事後学習   | 日頃から雑誌に目を通し流行に敏感になる習慣をつける。 事後：素敵なコーディネートの観察                 |  |
| 成績評価の方法と基準  |   |  |
| 評価の領域   | 割合  | 評価の基準  |
| 授業参加態度  | 20%   | 欠席、遅刻がなく積極的に授業参加しているか、スケジュール通りに課題が進んでいるかを評価する。 |
| レポート  | 40%   | コーディネートスタイリングマップを理解し制作できているか。                  |
| 調査報告書   |   |  |
| 小テスト  |   |  |
| 試験  |   |  |
| 発表内容（態度含む）  | 30%   | 「なぜ似合うのか」「なぜ似合わないのか」をきちんと説明できているか評価する。         |
| その他   |   |  |
| 教科書と参考図書  |   |  |
| 教科書：コーディネートテクニック 演出編（文化出版局） 参考書：コーディネートテクニック アパレル編 I（商品知識）文化服装学院編 |   |  |
| 履修上の留意点・ルール   |   |  |
| 欠席、遅刻認めない。忘れ物は減点対象とする。 授業内の提出材料（ブックの材料）は自己負担                      |   |  |